

7月の引き落としは
7月14日(月)

組合からのお願い……

引落し不能件数が多くなっています。手数料や振込案内などの郵送代は、皆様の組合費が財源となっています。お忘れの無いよう生活口座への設定をお願い致します。

建設埼玉岩槻

発 行 者

建設埼玉 岩槻地区本部

〒339-0037

さいたま市岩槻区浮谷2355-2

電 話：048-798-1277 F A X：048-798-2947

IMAGE



上野恩賜公園前にて集合写真。晴天のもと、笑顔で出発！

岩槻地本バスハイク 東京スカイツリーと浅草ホテルビュッフェを満喫

6月1日(日)、建設埼玉岩槻地区本部の「東京スカイツリー&ホテルビュッフェ」バスハイクが開催され、組合員とご家族計34名が参加しました。天候にも恵まれ、和やかで充実した1日となりました。

午前8時30分、市民会館いわつきを出発し、最初の目的地・上野恩賜公園へ。アメ横での買い物や、上野動物園の散策を各自楽しみ、緑豊かな公園でのひとときを満喫しました。

続いて浅草ビューホテル「スカイグリルビュッフェ武蔵」にてランチタイム。スカイツリーなど東京の絶景を望むスカイレ스토랑での90分間のビュッフェでは、豪華な和洋中の料理がずらりと並び、参加者は笑顔で舌鼓を打ちました。

午後は東京スカイツリーへ移動し、展望デッキからの大パノラマを堪能。高さ350メートルからの眺望に、

IMAGE



展望デッキへ行く前の集合写真。

「まさに絶景」「家族と記念写真がたくさん撮れました」などの感想が聞かれました。その後、「東京ソラマチ」にて自由散策し、参加者は各自ショッピングや限定土産の購入などを楽しみ、思い思いの時間を過ごしました。

帰りのバスでは参加者同士の交流も深まり、16時30分に無事帰着。参加者からは「次回もぜひ参加したい」といった声が多く寄せられました。

今後も、組合員同士の親睦を深める場として、こうしたバスハイクを企画してまいります。組合行事が初参加の方の参加も増えてきていますので、是非多くの皆様のご参加をお待ちしております。

IMAGE



アメ横 散策組♪



賃金アンケート にご協力ください

組合員の賃金や労働条件の実態を把握し、改善の取組を行うために今年度も賃金実態アンケート調査を実施します。結果については、自治体交渉や国会議員・県議会議員への要請行動などで現場の実態を訴える資料として広く活用します。

また、今年度はweb回答も同時に行います。内容は用紙アンケートと同様となり、スマートフォンやパソコンから3分程度で回答することが出来ます。

先月の配り物にアンケート用紙と封筒を配布します。対象月は6月の一か月分となりますので、7月11日(金)までにご回答下さい。

5月の配り物に1人あたり5枚のハガキと記入例、返信用封筒を同封しております。ご提出方法は、返信用封筒または、組合事務所までご持参ください。受付締切は7月11日(金)までお願いいたします。



ハガキ要請行動のお願い

文章の印字やコピーは
行わないでください

住所・氏名は必ず
手書きでご記入下さい

職業は必ず建設業を
ご記入ください
奥様が書く場合は
「私の夫は埼玉県で
〇をしています……」
と記入してください

補助金申請受付

令和7年度補助事業者
一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会
エイジフレンドリー補助金事務センター
(HP <https://www.jashcon-age.or.jp/>)

令和7年5月15日（木）から令和7年10月31日（金）
【注意】予算額に達した場合は、申請受付を終了することがあります。

安全衛生対策コース名		補助対象	対象事業者
Ⅰ 総合対策コース		・労働安全衛生の専門家によるリスクアセスメントに要する経費 ・リスクアセスメント結果を踏まえた、優先順位の高い労働災害防止対策に要する経費（機器等の導入、工事の施工等）	・中小企業事業者（詳しくは5ページ） ・1年以上事業を実施していること
Ⅱ 職場環境改善コース		・高年齢労働者の身体機能の低下を補う設備・装置の導入その他の労働災害防止対策に要する経費（機器等の導入・工事の施工等）	・役員を除き、自社の労働保険適用の高年齢労働者（60歳以上）が常時1名以上就労していること ・高年齢労働者が対策を行う作業に就いていること
熱中症予防対策プラン		・熱中症の発症リスクの高い高年齢労働者の熱中症予防対策に要する経費（機器の導入等）	
Ⅲ 転倒防止・腰痛予防のための運動指導コース	転倒防止	・労働者の転倒災害防止のため、専門家による身体機能のチェック及び専門家による運動指導を受けるために要する経費（役員を除き、5人以上の自社の労働保険適用労働者に対する取組に限ります）	・中小企業事業者（詳しくは5ページ） ・1年以上事業を実施していること ・役員を除き、自社の労働保険適用の労働者（年齢要件なし）が常時1名以上就労していること
	腰痛予防	・労働者の腰痛災害の予防のため、専門家による身体機能のチェック及び専門家による運動指導を受けるために要する経費（役員を除き、5人以上の自社の労働保険適用労働者に対する取組に限ります）	
Ⅳ コラボヘルスコース		・事業所カルテや健康スコアリングレポートを活用したコラボヘルス等、労働者の健康保持増進のための取組に要する経費（役員を除き、自社の労働保険適用の労働者に対する取組に限ります）	

高年齢労働者の労働災害防止のための設備改善や、専門家による指導を受けるための経費の一部を補助します。

埼玉労働局より、エイジフレンドリー補助金の案内がありました。

この制度のうち「職場環境改善コース」については、高年齢労働者（60歳以上）の労働災害防止のための経費について、条件を満たせば補助金が交付されるもので、熱中症予防対策についても対象になります。対象事業所や補助対象、必要書類等は左記よりご確認ください。

尚、熱中症について厚労省は、職場における熱中症対策強化のため安衛則の一部改正を行います。趣旨は、事業者に対して「早期発見のための体制整備」「重篤化防止のための措置実施手順の作成」「関係作業者への周知」を義務付けるとしています。実施義務に違反した場合、6ヶ月以下の拘禁刑、または50万円以下の罰金が科されることがあります。熱中症予防対策と、事業所における熱中症重篤化防止対策、現場での実施をお願いします。

住宅等における埼玉県産木材の利用拡大による森林の循環利用を促進させることを目的に、県産木材を使って家や事務所を建てる工務店等に建築費用の一部が最大34万円（相当数の入込客の見込める店舗等の内装木質化は最大50万円）補助されます。

一般社団法人埼玉県木材協会が事務局を担い、受付は5月19日（月）から12月10日（水）まで先着順で開始されます。詳細は埼玉県木材協会のホームページをご覧ください。

【お問い合わせ先】

一般社団法人 埼玉県木材協会

TEL 048-822-2568
(平日9:00~17:00)



エイジフレンドリー補助金

県産木材活用住宅等支援事業補助金

+++++++ 7・8月開催の講習 +++++++

講習名	開催日	費用（税込）		申込締切
		組合員	非組合員	
職長・安全衛生責任者教育	7/14（月） 15（火）	9,130円	16,720円	6/23（月）
職長・安全衛生責任者能力向上教育	7/28（月）	7,260円	10,340円	7/7（月）
石綿取扱い作業従事者特別教育	8/6（水）	4,620円	6,160円	7/16（水）

○職長・安全衛生責任者能力向上教育は、職長・安全衛生責任者教育を「平成18年3月以降に修了した方」または「平成18年3月以前に修了し、追加でリスクアセスメント教育を修了した方」で、受講から概ね5年以上経過された方が対象です。申請時に職長・安全衛生責任者教育修了証の写しが必要となります。

○石綿取扱い作業従事者教育は、石綿を取り扱う解体・改修工事現場で従事する場合は必ず必要です（石綿作業主任者の有資格者を除く）。

注1 … 費用にはテキスト代（組合員本人は免除）と弁当代（石綿特別教育には弁当はありません）が含まれています。

注2 … 各講習ともに写真2枚（縦3.0cm×横2.4cm）が必要です。

注3 … 各講習とも申込締切日前でも定員に達した場合は受付終了となります。

+++++++

◎ 7月のグラウンドゴルフの練習は

7月13日・27日 9:00~

多くの方のご参加お待ちしております。

東京スカイツリー。高さ634メートル、日本一、そして世界でも有数の自立式電波塔。その圧倒的なスケールに目を奪われがちですが、職人の目線で見てみると、やはり一番驚かされるのは構造や施工の緻密さです。

まず注目したいのが、タワーの中心に設けられた「心柱（しんばしら）」という構造。これは、五重塔など日本の伝統建築に見られる耐震技術をヒントにしたもので、揺れを抑えるために「中と外」が別々に動く仕組みになっています。古い知恵と最先端の技術が、まさに現場で融合しているわけです。

基礎工事もスケールが違います。直径50メートル・深さ50メートルの巨大な掘削に加え、



鋼管杭を正確に打ち込むという高精度の施工。まさに地盤から“モノをつくる”力が問われた現場だったと思います。

鋼構造部分も、ひとつひとつ

の部材がミリ単位の精度で加工され、現場で継ぎ目なく美しく組み立てられました。風速360km/hにも耐える構造は、図

面だけでは実現できない、現場の技と感覚があってこそのもんです。

普段の仕事で積み重ねている“当たり前”が、こうした巨大プロジェクトでも活かしているのだと思うと、なんだか誇らしくなりますね。

もし機会があれば、ぜひスカイツリーを下から見上げてみてください。ただの観光スポットではなく、自分たちの技術が作り上げた結晶として、きっと新しい視点で見えてくるはずです。

